

第221回 大阪小児科学会

◇◇ プログラム ◇◇

シンポジウム(14 : 00~16 : 00)

座長 丸谷 怜 (近畿大学医学部 小児科)
大西 聡 (大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学)

「子どもの成人へのtransition」

1. 低出生体重児を取りまく話題

大阪母子医療センター 新生児科 平野 慎也

2. 子どもの成人へのトランジション ～先天性心疾患～

大阪医科大学 小児科学教室 片山 博 視

3. 慢性腎臓病

関西医科大学 小児科学講座 木全 貴久

4. 発達障害児の成人期へのトランジション

大阪大学 連合小児発達学研究所 中西真理子

—— 休憩10分 ——

教育講演(16 : 10~17 : 10)

座長 杉本 圭相 (近畿大学医学部 小児科)

新専門医制度 更新基準 iii 小児科領域講習 (1点) 対象講習

「発達障害の考え方と大阪府の支援の取り組み」

永井 利三郎 (桃山学院教育大学教育学部教授, 大阪大学名誉教授)

※単位の取得には、60分の講演にすべて出席する必要があります。

遅刻や途中退席の場合、聴講は可能ですが、単位は取得できません。

■総 会(17 : 10~17 : 45)

議長 小垣 滋 豊 (大阪急性期・総合医療センター 小児科新生児科)

1. 会長挨拶
2. 平成30年度決算報告及び平成31年度予算審議
3. 小委員会より
4. 優秀演題賞表彰

優秀演題賞受賞記念講演

座長 大 藪 恵 一 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

「乳児期に発症した若年性皮膚筋炎の1例」

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学 織 辺 圭 太

- 教育講演は講演50分，質疑応答10分。
シンポジウムは講演各25分，質疑応答各5分とします。

第11回「低線量被ばくを考えるセミナー」

日 時：2019年4月6日(土)

大阪小児科学会（近畿大学医学部大講堂）終了後開催。

会 場：学会終了後，同じ会場で引き続き開催。講演と質疑で約2時間を予定。

福島第一原子力発電所事故の実情，低線量被ばくと健康被害について

元放射線医学総合研究所主任研究官，医学博士
東京電力福島原子力発電所事故調査委員会（国会事故調）委員
特定非営利活動法人3・11甲状腺がん 子ども基金 代表理事
崎山 比早子（さきやま ひさこ）先生

当日は「低線量被ばくの危険性」に関して，先生の長年のご研究から分かりやすくご講演いただきます。また，福島事故に関しまして，国会の事故調査委員会委員をされておられた経験も踏まえまして，「福島第一原子力発電所事故の実情，また，その後の健康被害の実態」，「福島原発事故後の福島現地や日本で何が生じているか，今後生じてくるか？」「子どもたちを守るために何をしなければならないか」などを小児科医に分かりやすくお話いただく予定です。そして，「特定非営利3・11甲状腺がん 子ども基金」の活動を通して見えてきた甲状腺がん患者さんのアンケート調査結果，日本学術会議の「報告」等にも触れていただき，小児科医が知っておくべきことなどを分かりやすくご講演いただく予定です。

主催：大阪小児科学会地域医療委員会